ムデシビル承認を勧告

C H M P

欧州でも投与可能に

AZD1222」は、

北里第一三共ワクチン)が |一三共バイオテック」(旧

も検討する。

明治グループは、KMバ

チン流通・供給スキ

/は25日、米アッ そーせいグルー アッヴィと、一

イヤリティを受け取る権利

て候補品を見出し、前臨床

試験までの研究開発費を負

スの独自創薬技術を応用し

時金34億円

Rに重点を置いた構造ベー

規低分子医薬品の創薬を進

口免疫疾患を標的とする新 両社は、炎症性疾患や自

● 太田胃散

める。そーせいは、GPC

保管・配送を行う。

そーせいグループ

制整備事業」の設備を活用

アル充填・包装など製剤化

を行い、Meiji Seikaのワク

保有する「新型インフルエ

アストラゼネカ

新型コロナウイルスワクチン「AZD122 スフォード大学とグローバルで開発を進める アストラゼネカ (AZ) は26日、

英オック

を開設した。サイトでは、

リューション」専用サイト トグループ調剤薬局向けソ

|など、調剤薬局での物流に

関する情報を発信する予定

| 可能性がある。

杖

業務サポートシステム

額10億ドル(約1065億

円)を超える取引額となる

各種物流サービス、梱包資

の国内の安定供給に向け、日本政府と協

議を進めることに合意したと発表した。第

を活用することで、国内での供給体制を構築 ワクチン製造・保管などの製剤化や流通機能 給を受けた後に、第一三共と明治グループの た協議を開始し、海外生産拠点から原液の供 KMバイオロジクスとは国内安定供給に向け

炎

症性疾患で創薬提携

芸

明治グループのMeiji Seikaファルマ、

報 ウイルス薬「レムデシビ 治療薬として申請中の抗 ギリアド・サイエンシズが 会(CHMP)は25日、米 政府

体的な協議を開始する。

し、調剤薬局内オペレー ソース・ノウハウを活用 を目指し、両社の経営リ ソリューションの価値向上

している。

引き続き行っていくことに なサービスの検討・開発を

じた最大3億7700万ド

ル (約402億円) のマイ ン、開発・販売の達成に応 る権利を有し、 ドル (約34億円) を受領す トン合計で最大3200万

第一三共はAZ日本法人

ノとは、国内安定供給で具

囚

明治と協業の方針

結した。 オックスフォード大学が開

分の製造を目指しており、 クチンを供給する契約を締 予定で、来年中には10億回 AZが同大学と4億回分ワ ノウイルスワクチンで、英 9月に最初の出荷を開始 ンザワクチン開発・生産体一イオロジクスの設備でバイ

遠

薬局をサポ

意した。新型コロナウイル との協議を進めることに合 行う第一三共と明治グルー スワクチンの開発・生産を の供給を目指し、日本政府 世界規模で生産体制を増強 今回、国内でもワクチン

アルフレッサ | タルサポートするソリュー | ビジネスモデルの構築に関

|ションを提供し、アルフ|

|する共同研究の実施――で

品化を目指す。 に作用する新規医薬品の商

レッサは医薬品流通ネット

ある。

ワークを活用して、調剤薬

サービス共同研究で協力

アルフレッサ・ヤマトロジスティクス

について、相互 協力することで 究と営業支援等 ス開発の共同研 薬局向けサービ 域における調剤 ティクスは26 とヤマトロジス 遠隔処方領

> を紹介する▽遠隔処方領域 局を対象にソリューション

し、病院、調剤薬局、患者、

地域住民に貢献できる多様

オプショ

イン診療の利便性を向上

今後、遠隔処方、オンラ

契約一時金と初期マイルス

契約により、そーせいは

送に関する、資材調達から マトグループが処方薬の配 基本合意の内容は、▽ヤ

究する▽遠隔処方領域の市 配用専用資材などを共同研 利便性向上を目的とした宅

チンのバイアル充填、包 から原液供給を受け、ワク

ションの改善や品質維持、

輸ホームページ内に

ヤマ

販売高に応じた段階的なロ ルストン、グローバルでの

新サービスは、

A2が受

大日本住友製薬

| 局や自宅などで利用しても

らう考え。非定型抗精神病

また、同日付でヤマト運

各種決済までをトー

場変化をを見据えた新たな

は、 抗PD

米メルク

初の免疫チェックポイント

阻害剤となり、同剤が取得

した癌種横断的なバイオ

「キイトル

う。埼玉県の製造子会社「第

醒

用リスクを上回る治療効果

般名:ペム

同適応は迅速承認であるた では2件目の承認となる。 マーカーに基づく適応症

た格好だ。条件付き承認取 が見込めると判断した。 件付き承認に大きく前進し HMPによる承認勧告で条 を受けており、欧州でもC 者に対し、米国では緊急使 ナウイルス感染症の入院患 レムデシビルは新型コロ 国内では特例承認 米メルク「キイトルーダ」

TMB高値固形癌で米承認

譶 (TM 伝子変異量 ブロリズマ て、腫瘍遺 ご につい め、承認の継続に当たっ

B H i 確認することが求められて ては検証試験で臨床効果を

を有する固形癌適応で、 不能・転移 性 (MSI-High) を マイクロサテライト不安定 キイトルーダは、高頻度

有する固形癌に続き、二つ 診断薬として承認された 取得した。コンパニオン

FDAから迅速承認を取得

したと発表した。TMB高

(日本製品名:ベクル

米欧で患者への投与が可能

勧告されるのは初事例とな

ウイルス治療薬として承認

り、正式に承認されれば日

は、米国立アレルギー感染

なる。CHMPの承認勧告 データで販売許可が可能と 常よりも少ない臨床試験 応が必要な疾患について通

症研究所が実施した試験な

有効性・安全性を検証した 得後は、ギリアドは同剤の 奨した。欧州で新型コロナ に対する条件付き承認を推

について、

は、緊急の医療ニーズに対

欧州の条件付き承認で

き、新型コロナウイルス感

けられている。 局に提出することが義務づ

奏効が24カ月以上持続して 12カ月以上、50%の患者で

|効率が29%、完全奏効率が のうち57%の患者で奏効が 有効性を示し、奏効例3例 4%、部分奏効率が25%の

た試験結果では、客観的奏

る患者102人を対象とし TMB高値の腫瘍を有す

越しに双方向に対話でき、 任のMRが対応する。画面 で24時間事前予約を受け付 診療時間の合間などに、 医 チャットボット 一チャネルを追加. いコミュニケーショ

MRがオンライン情報提供 薬は、医療関係

一癌種に関わらず治療が可能

TMB高値の固形癌患者は

になる。

|る。10mut/Mb以上の

見込まれる患者を特定す し、キイトルーダの効果が ン C D x 」 で T M B を 測定 ム「ファウンデーションワ

上に導入した 開始した。 テムで情報提供 ライン会議シス するサービスを (MR) がオン 医薬情報担当者 者向けウェブサ イトで、専任の ウェブサイト でもパソコンやスマート 患、医療行政などについて ウェブサイト上で製品や疾 を拡充する予定。 る。順次、配信コンテンツ フォンで動画を視聴でき た。医療従事者はいつどろ 説明する動画の配信を始め 提供する。 また、バーチャルMRが

困難な中、非接触型の新し 症の影響で、対面での医療 新型コロナウイルス感染

飲む イボフロツ

イボ、 皮膚の あれに

横山製薬

内服錠 [ヨクイニンエキス] 1998mg配合(1日間)

180錠

首・顔などの飲む

第3類医薬品 イボフロリ内服錠

領域の製品に関する情報を 薬「ラツーダ」など精神科

生薬のヨクイニンから抽出されたエキスを 錠剤にしたお薬です。体にやさしく作用し、 イボや皮膚のあれに効果があります。



全ゲノム解析を提供開 A2 アイラックと提携

選定したG蛋白質共役受容

を締結したと発表 的な創薬提携契約 を標的とした独占 ヴィと炎症性疾患

> プションを有しており、総 ターゲットを拡大できるオ

アッヴィは最大4種まで

担する。その後アッヴィが

バルで開発・販売を

した。アッヴィが

(GPCR) ターゲット

|ラック」と業務提携し、従 サービスの提供を開始す ノム解析を追加した新しい 来のCROサービスに全ゲ 大学発ベンチャー「アイ ム解析事業を展開する筑波 スケア(A2)は、全ゲノ (CRO) のエイツーヘル 国内臨床試験受託機関 解析を行うというもの。疾 託する臨床試験を実施する 患のゲノム情報を収集する 際にゲノムサンプルを回収 連遺伝子の探索や治験薬に 会が得るのが狙い。疾患関 ことでエビデンス創出の機 し、アイラックが全ゲノム

対する薬剤反応性のゲノム 一索などを想定している。 した際の関連マーカーの探 データ蓄積、 副作用が発現

イボのあれに

始 柴顔は

12月13日は 「胃に胃散」の日です。

5 太田冒歡 哥

太田胃散(分包) ● 飲みすぎ 胸やけ ♥ 胃の不快感に 第2類医薬品

太田胃散 ありがとう いいくすりです

:溶けて、やさし~く効く。 で、いい 笑 顔 になるってワケや



